





# 歴史 語りい座・浦賀 四十八

郷土史家

山本 詔一



## ●『近世浦賀崎人伝』Ⅱ●

—宮原石二—

宮原石二は、紀州宮原（和歌山県有田市）に生まれ、幼名を藤松、後に治兵衛を名乗った。石二は、『浦賀文化四十一号』、『近世浦賀崎人伝』に記した宮原阿久の父である。『崎人伝』に親子で登場するのは桐ヶ谷道意・随音に次いで二組目である。

石二の家業は干鰯問屋で、東浦賀干鰯問屋の重鎮であり、宮原屋与右衛門（通称宮与、「崎人伝」では宮井素柏で登場）と宮原屋治兵衛（通称宮治）が双壁であった。

宮治の店は紀州に本店があり、本店が繁盛すれば浦賀の店も繁栄し、すでに百三十年余余ると記されている。『崎人伝』が記されたのが文政十一年（一八二八年）であるので、元禄年間にはすでに浦賀へ出店していたことになる。干鰯問屋には享保十五年（一七三〇年）に加盟している。

宮治の店主（支配人）は代々治兵衛を名乗った。三代目治兵衛である石二は、そのなかでもとりわけ勤慎実直で多くの人を難義から救い、若いころから孝行者であるということが広く知られていた。

二、三年浦賀に滞在していたかと思ふと、本店のある紀州に帰り、また浦賀へ立ち戻るといふ生活を何年

も繰り返していた。こうして紀州と浦賀を行き来していた文化元年（一八〇四年）には、宮治の初代・教安と二代目・教受の年忌を執り行っている。

浦賀にいるときでも、遠くの町で困窮している者があると聞けば、名前も告げずに物を送ってこれを助け、近くで人が困っていると知れば、家の前に財を置きひそかに拾わせるようにした。こうした石二の行為は、豊かな心の持ち主であり、真の社会事業家の表れであった。またそれが出来るだけの財力が伴っていたことを証明する。

こうした度重なる善行は、誰としようことなく知れ渡り、奉行の耳にも入り、村の年寄役を任命された。また、紀州の殿様からは宮原姓を名乗ることと三人扶持を賜り、苗字帯刀御免となり、紀州藩だけで行われていた制度の地土（藩と民間とのパイプ役で身分は武士）に取り立てられたのも、石二の功績であった。

石二は商売も熱心で、社会事業にも情熱を捧げていたが、一方では書を愛し、学問を好み、砂元恭（江戸中期の有名な儒学者で漢詩人、画家でもあった服部南郭の弟子で、内川新田の開発者・砂村新左衛門の子孫の新三郎）と風流な付き合いをし、その傍らで当時、蕉門俳人のトップであった雪中庵蓼太に俳諧を学び、

枕流亭を名乗り、関東ははるか、京・大阪の人々とも交わり、その名が知られていた。

『崎人伝』には四季を詠んだ句が紹介されている。

日の本の光や仮名の書き始め  
蚤とるに男は鈍く思いけり

虫に灯を取られて月の庵かな  
掃除して正月さする小船かな

晩年は俗事をはなれて、静かに暮らし、法号を寿安とし、さらに髪を落として仏門に入り、

七種や塵にまじわる仏の座  
と詠んでいる。

老いてますます謙譲の心を失わず、恵の風が村をめぐり、慈しみの波が村を潤していた。

浦賀中の人が、いや多くの人が石二の長寿を祈らぬものはなかった。しかし、惜しいことに文政九年（一八二六年）八月二日、八十二年の生涯を閉じた。

### 俳句の散歩道

冬ざるる槌音消えし造船所  
小塚基和

賜はりし菊の御紋の宮小春  
土部千恵

### 笑話一題

花の名前を調べるのは意外に面倒です。しかし、最近ではインターネットや市販されている図鑑でも簡単に見つけることができるようになりました。花の色や開花時期、花弁の数などで見つけられます。ハイキングや散歩で知らない花を見つけても、撮影しておけば帰宅してからゆっくり調べることができます。また、撮影する時に漠然と撮るのではなく出来るだけ花を大きくすると、ちがう花の表情が発見できます。たとえば、「ハキダメギク」（牧野富太郎先生命名）は黄色い中心に五つの白い花弁が並ぶかわいい花ですが近寄らないと小さい花なので見過ごしてしまいます。「ナスナ」という植物は、種を付けた状態は知られていますが、その花の可憐さが分かれると他の花のことも知りたくなります。春の「キユウリグサ」や秋の「ミズソバ」など、身近に咲いている花を歴史散策の途中で見つけて調べてみてはいかがでしょうか。

（千葉県児）



### —浦賀コミセン分館よりお知らせ—

歴史講座

## 日本遺産を学ぶ

～日本近代化の躍動を体感できるまち～

日時：2/6・13・20・27【毎月曜日/全4回】

13：30～15：30

場所：（座学）浦賀コミセン分館

（見学）JR横須賀駅集合（20日）

講師：山本詔一さん（横須賀開国史研究会会長）

締切：1月20日（金）必着

詳細は、広報よこすか1月号、または各コミセンに配架してあるちらし等でご確認ください。

浦賀文化のバックナンバーがご覧いただけます

(<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2490/uragabunka/>)

